

中学生の職業体験を実施しました！

令和元年6月26日（水）に横浜市立原中学校の職業体験を受け入れました。当日は、作業着に着替えて除塵機（川から流れ込む草木などのゴミを取り除く機械）の操作体験や、顕微鏡での水質検査（微生物等のチェック）、残塩計器測定（計器と実測値の数値のずれがないかをチェック）などの作業を体験してもらいました。

1つ目の体験先は社家取水管理事務所です。

まず管理室で、オペコンの操作体験をしました。初めて扱う機械に緊張しながらも、教えてもらいながら操作をすることができました。



そして、実際に現場での作業です！

作業には危険が伴うため、安全確認の重要性について説明を受け、危険予知活動（KY）を行いました。

2つのグループに分かれ、除塵機の操作体験と採水体験をしました。

沈砂池での除塵機の操作は、レバーをひねることで機械が動きます。機械を動かすときには、自分や周りの人が怪我をすることがないように、安全確認が大切なことを学んでももらいました。



採水体験では取水口から原水を採水しました。河川に転落する危険があるので、万がーのためにライフジャケットを着用して作業を行いました。

自分たちで採水した水を持って、次の体験先に向かいます。





2つ目の体験先は、広域水質管理センターです。スポイトを使って原水をプレパラートにうつし、顕微鏡を使って微生物探し！顕微鏡を真剣にのぞいて、台を手前に奥に、左右に動かして微生物を探します。見つけれると、「これはなんていう名前なんだろう」と言って、見つけた微生物の名前を図鑑で調べました。



続いて、原水と水道水の色度（色を調べる）と濁度（濁り具合を調べる）の測定を体験してもらいました。

先ほど採水した水と、水道水の水を見比べてもあまり差がないように見えたようですが、実際に数値を測定すると一目瞭然。水道水が浄水過程を経てどれだけ綺麗になっているかを知り、驚いた様子でした。



午後は、3つ目の体験先の綾瀬浄水場へ移動しました。

残塩計器の数値に誤りがないか確認するために、計器の数値と実測値のクロスチェックを行います。残塩の実測では、沈でん池から採水ポンプによって送られてきた水を採取します。

実験の前に、ろ過池から管廊を歩いて採水ポンプからの流れを確認しました。



そして、実際に残塩の実測に挑戦！マニュアルを見ながら薬品を入れ、数値が出たら表に記入していきます。最後に 3 人の実測した値の平均値と、計器の数値がずれていないかチェックします。

今回数値の大きなズレはありませんでした。

一日にわたって企業団の様々な作業を体験してもらいました。川の水を水道水にする過程の作業を一部体験してもらいました。その一つ一つの重要性を理解してもらえたと思います。



企業団が、今後の職業選択候補の一つになることができたらうれしいですね。

協力いただいた皆さまありがとうございました。